

第12回 JIPA知財シンポジウム

花王における アジアでの知財アクティビティ

2013年2月1日

花王株式会社
知的財産センター
加藤 実



花王の概要

商号	花王株式会社 (Kao Corporation)
本店所在地	東京都中央区日本橋茅場町 一丁目14番10号
創業	1887年6月 (明治20年)
設立	1940年5月 (昭和15年)
売上高	1兆1,868億円 (連結)
資本金	854億円
従業員数	5,924名 (連結対象会社合計 34,743名)

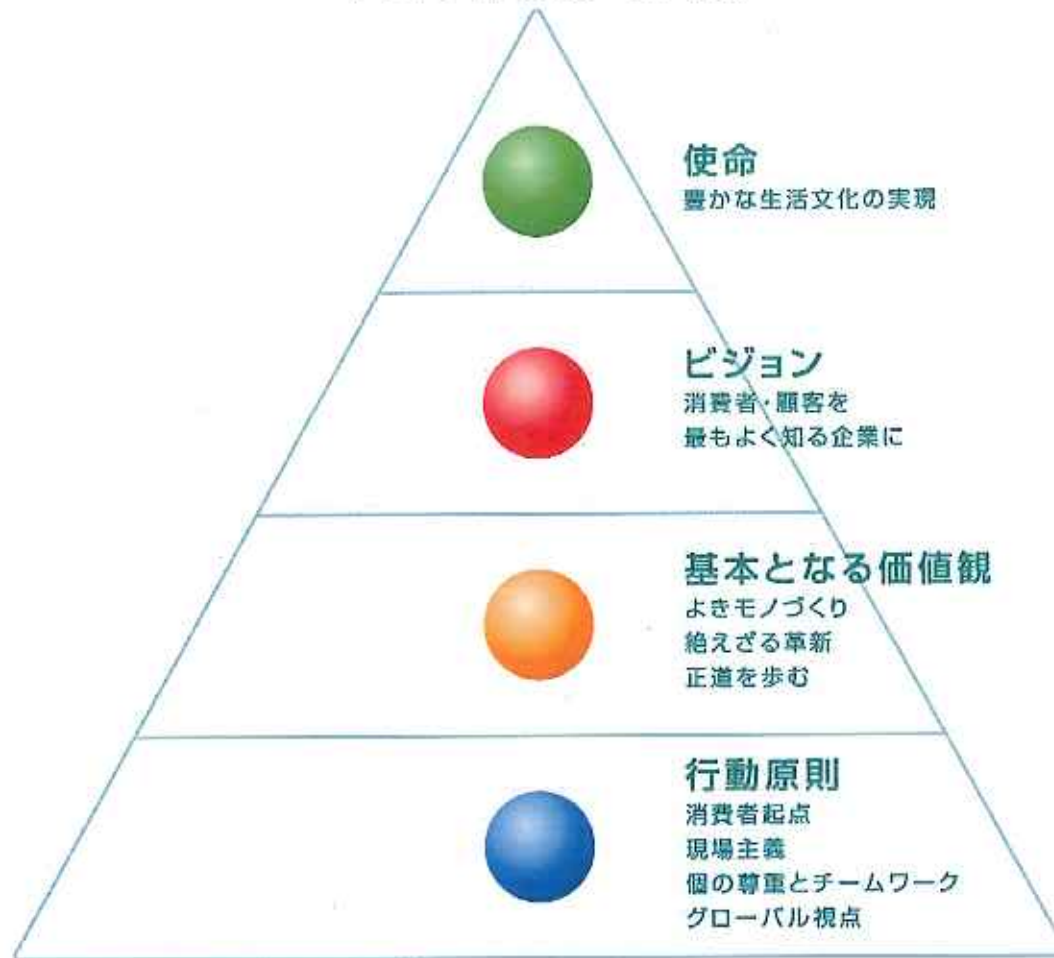
2011年3月31日現在



1890年発売の「花王石鹸」(桐箱
3個入り)と月のマークの金型。

花王ウェイ（企業理念）

The Kao Way



使 命

私たちは、消費者・顧客の立場にたつて、心をこめた“よきモノづくり”を行ない、世界の人々の喜びと満足のある豊かな生活文化を実現するとともに、社会のサステナビリティ(持続可能性)に貢献することを使命とします。この使命のもと、私たちは全員の熱意と力を合わせ、清潔で美しくすこやかな暮らしに役立つ商品と、産業界の発展に寄与する工業用製品の分野において、消費者・顧客と共に感動を分かち合う価値ある商品とブランドを提供します。

連結売上高と構成比（2010年度）

ケミカル事業の地域別内訳

		1,985億円
油脂製品	日本	1,249億円
機能材料製品	海外	1,534億円
スペシャルティ ケミカルズ製品	内部売上消去	-799億円



ファブリック＆ホームケア事業

ファブリックケア製品
ホームケア製品



コンシューマープロダクツの地域別内訳

	9,882億円
日本	8,172億円
海外	1,937億円
内部売上消去	-227億円

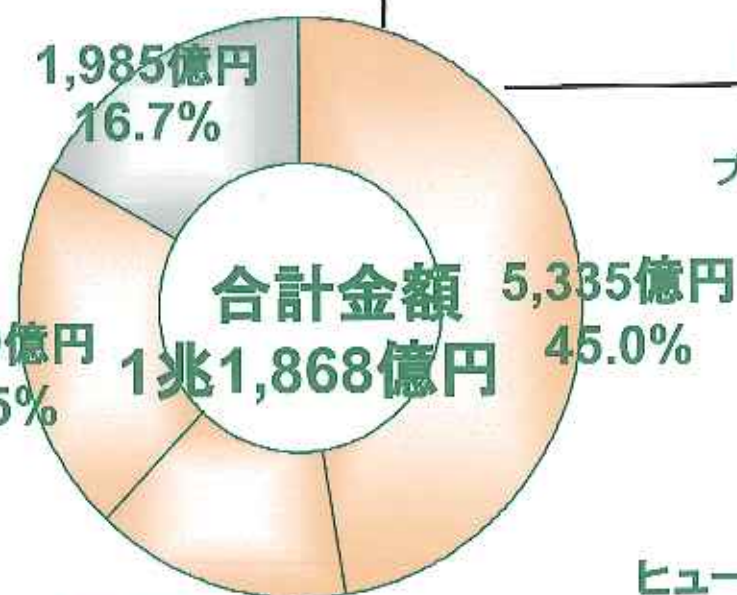
ビューティケア事業

プレステージ化粧品
プレミアムスキンケア製品
プレミアムヘアケア製品



ヒューマンヘルスケア事業

サニタリー製品
パーソナルヘルス製品
フード&ビバレッジ製品



花王の海外（アジア）事業展開

家庭品事業の海外展開は1950年代、粉末
シャンプーのタイ・シンガポール・香港
への輸出から始まった

（油脂製品等ケミカル事業の海外展開も同時期から）



「花王フェザーシャンプー」

アジアでは合併による現地法人の設立を（欧米では
現地企業の買収を）契機とした事業展開が主体

家庭品事業での主な現地法人設立年：

タイ & 台湾（'64）、香港（'64）、シンガポール（'65）、
マレーシア（'73）、インドネシア（'78）、中国（'93）

ケミカル事業での主な現地法人設立年：

タイ（'64）、台湾（'66）、フィリピン & インドネシア
（'77）、マレーシア（'88）、中国（'95）

海外（アジア）における花王製品の例

	中国 CN	インドネシア ID	マレーシア MY	シンガポール SG	タイ TH	台湾 TW
 「アタック」 （衣料用洗剤）	✓	✓	✓	✓	✓	✓
 「ビオレ」 （洗顔料等）	✓	✓	✓	✓	✓	✓
 「ロリエ」 （生理用品）	✓	✓	✓	✓	✓	✓
 「メリーズ」 （オムツ）	✓	✓	✓	✓	✓	✓
 「リーゼ」* （泡状染毛剤）	✓	✓	✓	✓	✓	✓
* 日本とは異なるブランドで展開						
 「マイティ」 （コンクリート分散剤）	✓	✓	✓	✓	✓	✓

グローバル戦略を柱とした中長期の方向

日本市場での利益ある成長



グローバルな市場で存在感のある企業を目指す。

- ・「グローバルな成長」の実現なくしては、当社グループの将来にわたる成長はない
- ・「日本市場」でさらなる利益ある成長を遂げるとともに、そこで得られた利益を原資として、海外事業展開のスピードをあげ、広くグローバルな市場で存在感のある企業に

(第105期定時株主総会資料より)

グローバル知財活動の課題

業務推進

- ・ 出願国／地域の増加、多様化に伴う判断基準の深化
- ・ 各国でスムーズに権利化できる「グローバル明細書」作成
- ・ 海外グループ会社発の発明の取り扱い体制の確立
- ・ 事業国／地域に応じた他社特許クリアランスの実施
- ・ グローバル知財情報(検索)機能の強化
- ・ 海外での係争事案(模倣品対策を含む)の経験とノウハウの蓄積

グローバル知財活動の課題

組織運営

- ・ 海外グループ会社の知財ニーズ把握の体制の確立
- ・ 知財管理情報のグループ会社間での共有

人材育成

- ・ グローバル人材(日本人/現地スタッフ)の育成
- ・ 社内でのグローバル対応型知財教育の拡充

自然と調和する 心豊かな毎日をめざして

Kao

